

わたしの意見

安心・安全な 淡路市を目指して

私は、自然豊かで地域の人たちが見守ってくれる淡路市が大好きです。

ただ一つ、不安に思うことがあります。それは街灯が少ないため、夜道が暗く、危険なことです。暗くなると、自分の足元が見えず、けがをしたり、怖くて不安な気持ちになったりします。そのため、街灯を増やすことで、

事故なく安心した生活を過ごすことができると思います。大町もふくめ、だれもが過ごしやすくなるように、安心安全な淡路市になってほしいです。



そわ てっぺい
嶋 徹平 さん
(大町小学校6年)

強く望むこと

僕は、淡路市がとても大好きです。

最近、淡路市で暮らしていて楽しいと思えることを見つけました。それは、釣りをすることです。県外や島外からも沢山の人が淡路市へ釣りをしに来ています。釣りも観光の一つになっていると思います。

一方で、ルールを守らずゴミを持ち帰らないことによって釣り禁止になってい



つじ けん たらう
坪井 健太郎 さん
(一宮中学校3年)

る所もあります。自然が豊かな淡路市を保つために観光と環境保全の両立をしてほしいです。釣り禁止の場所がなくなること強く望んでいます。

「ねぎらい」が 呼ぶUターン

現在淡路市では、出産祝い金として、第2子以降を出産するとお金が給付されます。私は7人兄弟の6番目です。もっと早くにこの支援に該当していたら、両親はすごく助かったらと思います。だからこそ、子育てを終えたお母さんやお父さんたちにも、ねぎらいの仕組みがあれば素敵だなと感じています。



はた こなつ
八田 胡捺 さん
(淡路高校3年)

そういった政策で、淡路で暮らしたい、淡路に帰ってきて子育てをしたいという若者がより増えたらいいなと期待しています。

編集後記

今回のズームアップでは、地域で広がっている「こども食堂」を訪ねました。取材を通じて感じたのは、食事の提供だけではなく、温かい声かけや笑顔の交流が自然と生まれる現場には、地域のつながりの大切さが色濃く表れていました。

こうした場が地域にあることは、とても心強いこと

だと感じました。

本特集を通して「こんな場所があるんだ」と少しでも身近に感じていただけたら嬉しく思います。「こども食堂」についての理解を深め、関心を寄せるきっかけとなれば幸いです。

(委員 土井 章史)

【編集委員】

古山 久則 村田 沙織 城下 陽一 小田 晃正
大久保浩伸 岡田 教夫 鎌塚 聡